

このレターは、当協会にご縁を頂いている経営者の皆様にお届けしています。
答えのない21世紀で奮闘されている経営者の皆様へ

Vol. 94
2025.01.01

U 協 近 畿 通 心 ～U協を使い倒しましょう～

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
近畿事業推進部

【撮影】鹿児島重富海岸からのご来光！ けあらしと桜島！

岳と高山植物を撮る、山岳カメラマン！ 絶景ハンター 外西 敬二さん

【年頭のごあいさつ】

新年、あけましておめでとうございます。

近畿事業推進部の川畑です。

皆さま、よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は元旦に発生した能登半島地震、羽田の航空機衝突事故、日銀マイナス金利政策解除、34年ぶりの160円台の円安ドル高、日経平均42,426円市場最高値更新、4,400円超市場最大値下がり、最低賃金1,054円過去最大50円引上、75万人余の過去最少出生数、20年ぶり新紙幣の発行、石破内閣組閣後衆議院選挙自民党大敗・・・世界ではロシアのウクライナ侵攻3年目、レバノン軍事侵攻、右傾化、アメリカ大統領選挙ドナルド・トランプ氏勝利など、経済に直結する大きな出来事がありました。

また、昨年の漢字は「金」でしたね。オリンピックもありましたし、お金の話題も多かったからです。

私の地元である鹿児島伊佐は、日本で唯一商業稼働している金山があります。含有量もずば抜けています。1tに3gあれば商業ベースと言われますが、伊佐の菱刈金山はその10数倍(30～40g)ありますのでその凄さがわかります。家にも金鉱石があります。今でも新しい金鉱脈が発見されています。金鉱脈の上に伊佐(旧菱刈町)があります。

今年は**巳年**！干支は「**乙巳(きのとみ)**」です。十干十二支では42番目にあたる組み合わせです。

乙巳(きのとみ)の「乙は未だ発展途上の状態、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味しています。この組み合わせは**これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆**しています。いい年になりそうで楽しみです。

昨年もしろんなことにチャレンジしました。うまくいったこと、まだまだ工夫が必要なことなど多々ありました。今年は私の卒業年(飛び級です)、最後までしっかりやって、次へバトンタッチしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【新年、地元鹿児島伊佐の菅原神社でこんなことを祈願しています。】

○ウクライナ侵攻、ガザ紛争が少しでも早く終息して平和が訪れますように！

○景気がよくなって、人々の心が豊かになりますように！

○家族が元気で幸せな1年を過ごせますように！

今年も「U協近畿通心」を愉しんでいただけると嬉しいです。



西宮廣田神社の今年の絵馬です。
乙巳（きのとみ）です。大きくて立派な
絵馬が毎年奉納されています。

前回は、第123回「変わってきた話し言葉」(2024.08.15)をご紹介しました。

今回は、第124回「**変わらなければならないもの**」 (2024.09.17)をご紹介します。

先月号では、変わってきた話し言葉に苦言を呈しました。しかし、変わることは決して悪ではありません。むしろ変わるによって人類は進歩してきました。科学も産業も文化も芸術も、人間社会の営みのすべては、変わるによって発展してきました。しかし、その変化には逡巡（しゅんじゅん）するものもあります。

「生き残るためには変わらなければならない」

「変わら残るためには変わらなければならない」。これは、もう半世紀も前のカンヌ映画祭のグランプリ受賞作品「山猫」で、ルキノ・ヴィスコンティ監督が主演のバート・ランカスターに言わせた意味深い言葉です。いつの時代にも、どのような社会、組織でも、変化に乗り遅れるものは滅びる運命にあります。ところが厄介なことに、多くの人も組織も、変化することを嫌うのです。変えないほうが楽だからです。しっかりした組織にしても然（しかり）です。

NHKの人気ドキュメンタリー番組「プロジェクトX」をご存じかと思います。社会派の発明、発見物語です。私どもが今は当然と認識している多くの大改革、大発明も、それを成し遂げた人たちにとっては、例外なく冷たい蔑視と孤立の中でのスタートでした。その逆境を乗り越えて、最後は涙のハッピーエンドで終わるのですが、これらの番組を見ておりますと、人や組織は、いかに変えることを嫌うかがよく分かります。

執念の開発者の努力と、それを支えてきた少数の理解者。「プロジェクトX」の成功物語を見ていて、いつも感じるのがもう一つあります。その成功の陰には、功ならずして消えていった、数多くの失敗物語があったであろうということです。それらは、変えようとしても、経済的要因や組織論、時には因習に阻まれて、日の目を見ずに終わったのではないかと。そう考えると、私はいつも何か大切な忘れ物をしているような、忸怩（じくじ）たる思いがするのです。

捨てることと変えること

尊敬する後輩がいました。彼の出す企画提案は、常にユニークで話題を呼びました。ある時はしっかりしたリサーチをもとに練り上げられた重厚な企画もの。またある時は軽妙な発想のミニ番組と、彼の発想はいつも変化に富んで多彩でした。その企画提案のコツを彼に聞いたことがあります。「最初に浮かんだ発想を捨てることです。あとは偉大なるマンネリズムで行くか、サムシングニューで勝負するか、その時によりますね」。笑いながら彼は答えました。

変わることは、常に期待と共に不安があります。まして捨てるとなると、確かな信念と覚悟が必要でしょう。その後私は、彼が最初に挙げた「まず捨てること」に、ずっと拘り続けました。捨てなければ変えられないからです。

進化するIT社会と電話対応

それにしても、ここ数年の科学技術の進歩は、宇宙開発をはじめ、数々の夢物語を現実のものにしつつあります。さらには想定外の技術も発揮してみせるのです。先日、面白いニュースを見ました。植物の受粉作業を、農業用ロボットが担い始めているのです。つまり蜂や蝶が担ってきた受粉という自然界の営みまで、ロボットが代行する時代が始まっているのです。

ボイスボットと言われるAIによる自動応答システムなどは、たちまち遺物になってしまうかもしれません。そうした周辺状況の変化の中で、電話対応はどう変わったでしょうか。通信のユニバーサルサービスの手段は、固定電話から携帯電話に変わりました。ラインなどのメッセージアプリが、重要な役割を担うようになったのです。そして、AIオペレーターを導入している企業も、少し古いデータですが、IBM調査では2022年時点ですでに35%を超えていると聞きます。そしてその精度は明らかに上がっています。にもかかわらず、人間オペレーターの対応は、残念ながらそれほど変わっていないように私は思うのです。それは劇的に変わるものではないでしょうが、AIオペレーターの技量が上がるほどに、人間オペレーターへの期待は大きくなるはずで、棲み分けも進むでしょう。

AIのしゃべりは「音」 人間のしゃべりは「声」

人間の「声」には「情」があります。対話には「溜（ため）」と「間」が必要です。そして、伝えるためには「繰り返し」が必然なのです。この決定的なポイントが、今後、AIと人間の対応を分けることになるでしょう。今年も全国電話対応コンクールが11月15日に高知市で開かれます。どのような対応を聴かせていただけるか、楽しみにしています。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。 「物流DXの方向性と期待されていること(1/2)」

物流業界は経済活動の重要な基盤としてその役割を果たしてきましたが、労働集約型の産業で他業種と比べると生産性が低いのが実態です。しかし、近年の技術革新や社会的な変化により、その姿は大きく変わろうとしています。これからの物流業界や物流企業は、「装置産業化」によるハード面の効率化と、「データ産業化」によるソフト面の効率化をバランスよく取り入れ、持続可能で革新的な運営を実現することが期待されています。

最終回の今回は、これからの物流業界に必要なDX戦略について解説していきます。

物流の進化とロジスティクス4.0

物流・ロジスティクス分野は、今までに三つの革新的変化を遂げてきたと言われています。

第1の革新は、19世紀後半から20世紀にかけての「輸送の機械化」です。それまでは、人力や馬車、帆船などに委ねられていましたが、トラックの実用化や鉄道網の整備などが行われ、陸上での大量・長距離輸送が可能になりました。船舶に関しても、汽船・機船の普及により輸送能力や安定性が大きく向上しました。

第2の革新は、1960年代からの「荷役の自動化」です。荷物の自動仕分けや、荷物を自動でラックに出し入れする自動倉庫が登場します。倉庫内の荷役作業が一部機械化・自動化され、生産性が向上しました。

第3の革新は、1980年代からの「物流管理のシステム化」です。WMS（Warehouse Management System／倉庫管理システム）やTMS（Transport Management System／輸配送管理システム）といったITを活用した物流管理システムが広がり、在庫管理や配車手配の自動化・効率化が実現しました。

そして、まさに今、IoTの進化による省人化・標準化を実現する**第4の革新、「ロジスティクス4.0」**が進みつつあります。

例えば、自動運転トラック、倉庫ロボット、ドローンなどIoTの進化によりサプライチェーンの各領域において省人化が進みます。輸送は自動運転のトラックが高速道路を走り、トラックドライバー不足の解消を期待されています。

自動運転については技術面でも、法律面でも、まだまだ解決すべき課題がありますが、そこまで遠い未来の話ではなくてきているのは間違いありません。

また、ドローンによる無人配送も実証実験が進み始めています。倉庫においては、荷役、格納、搬送、ピッキングなどを自動で行うロボットが登場してきています。

オペレーションが人から機械やシステムに置き換わることにより、必要人数は大幅に削減され効率化が実現しています。

このほか、IoTが進化することで、調達から生産、小売、配送まで、すべてのデータが連携されることにより、どこに、どれくらいのモノがあるのかを正確に把握できるようになります。

例えば、RFIDタグ※で生産や販売、輸配送の状況がリアルタイムで共有されることによって、需給の変動や輸送環境の変化に応じた生産・物流計画の柔軟な見直しが可能となります。このような背景を受け、今後、物流業界や物流企業が進むべき道は、「装置産業化」または「データ産業化」のいずれか（もしくは両方）と言われています。



倉庫ではロボットがあらゆる作業を自動化し、人の業務負担を大幅に軽減してくれる

大企業に有利な装置産業化

装置産業化とは、**自動運転トラックや倉庫ロボット、ドローンなどの装置を提供**することで、従来の労働力に頼ったサービスと同等のサービスを提供するようなビジネスモデルです。この方向性は、特に大企業に向いています。中小企業と比較して資本力に差があり、また規模の経済が成り立つためです。

装置産業化を実行するには大規模な初期投資が必要です。自動化設備や高度なインフラを整えるためには、多額の資金が求められますが、大企業はその資本力を活かして最新の技術や設備を導入し、大規模な設備投資を行うことが可能です。

また、装置を有効活用するためには、大量の貨物を輸送・保管・処理し、設備の稼働率を高める必要がありますが、そういった点でも大企業のほうが有利と言えます。

さらに、長期的な視点での投資回収を見据えた戦略を取ることができることも、大企業に向いている理由の一つです。初期投資が大きくても、長期的に見ればその投資がコスト削減や生産性向上につながることを理解し、実行する余裕があるためです。

中小企業が生き残るためのデータ産業化

データ産業化とは、**データを活用して業務の効率化やサービス向上を図る戦略的な取り組み**です。

物流現場には受発注のデータやエリア別の出荷データなど、ありとあらゆるデータが存在します。しかし、今まではそれが集約して管理されたり、分析に使われたりすることはあまりなく、有効活用されているとは言えない状況でした。本来であれば、過去の物流データから需要予測や最適な在庫数量、拠点配置を荷主企業に提案することで、お互いにとってサプライチェーンの最適化を実現できます。

システムのクラウド化やAIの低コスト化によって、中小企業でもデータを活用して競争力を強化し、差別化を図ることができるようになるでしょう。

生産から配送まで、すべてのデータが連携することで、物流の「データ産業化」が進められる



選ばれる物流企業になるために

このように、中小企業が大半を占める物流業界において、DX・デジタル化は生き残るために必須の手段と言えます。荷主企業からすると、非DX物流企業とはデータを基にしたサプライチェーンの最適化が図れず、非効率です。アナログで生産性が低いということは、言い換えると高コスト体質な物流企業ということです。

また、データがリアルタイムで見られない、データ分析からの提案・フィードバックがないなど、付加価値の低い物流企業とは付き合いたくないでしょう。一方で、その企業で働く人や求職者からしても、今後DXに取り組んでいない物流企業は避けるようになるでしょう。効率が悪く長時間労働の会社、ブラック業務が残る会社、勘と経験ですべてを判断する会社で働きたいという人はまずいません。

つまり、これからの時代、**荷主企業からも従業員からも選ばれる物流企業になるためにはDXは避けては通れません。DXは単なる業務効率化だけでなく、営業力にも人材の採用・定着力にも大きく影響を及ぼします。**荷主企業からも従業員からも選ばれる物流企業を目指して、ぜひDXに取り組んでください。

RFIDタグ

RFID (Radio Frequency Identification : 無線周波数識別) とは、無線でデータの読み取りを行い、モノの識別や管理を行うシステムのことで、RFIDタグは、データが記録されている媒体をさします。

【お役立ち情報：12/13(金) 全国参加型ICT講座を開催しました。1/2】

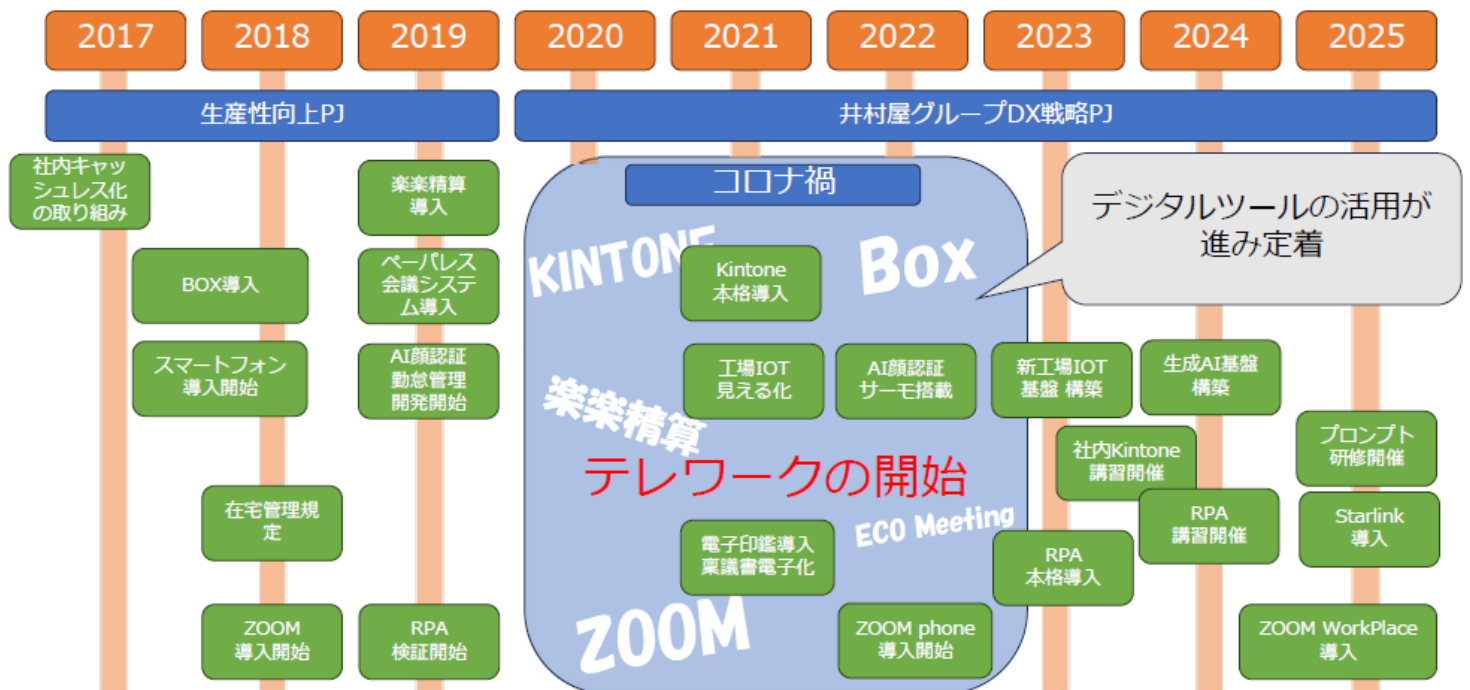
12/13にDXリテラシー講座として、実際にDXを推進して成果を上げている井村屋グループ様に創業128年井村屋グループが取り組むデジタルトランスフォーメーションをご紹介します。定員300名に対して450名余りのお申込みがあり、皆さんの関心の高さが伺えました。DXはまだまだできていない企業が多い中で、先行している企業の推進者、今回は執行役員常務デジタル戦略室長の岡田孝平様の話はとても参考になったと存じます。

その中から今回はご紹介します。

まずは、このDX年表です。2017年の生産性向上プロジェクトから2020年にはDX戦略プロジェクトへ進化されています。2017年は社内キャッシュレス化から取り組まれています。IC社員証と連携して、自販機、社内食堂もキャッシュレス化されました。こういう取り組みだと社員も受け入れやすいですね。

DX推進年表

井村屋グループ



2018年にオンラインストレージを導入されました。「時間と場所に縛られない自由な働き方」へチャレンジされました。様々なオンラインストレージを検討されBOXを使うことに決められました。さらにBOXの活用を加速させるためにスマートフォンの導入を決定されました。これは営業・生産・開発での働き方改革に繋がっています。スマートフォンの全社導入が今後のデジタル化のキーポイントと考えていらっしゃいます。

DXの第一ステップ「デジタイゼーション（紙のデジタル化、仕組みのデジタル化）」として社内ペーパーレス化にも取り組まれています。まずは2018年会議のペーパーレス化から始められました。ペーパーレス会議は、エステック社のECO Meetingを導入されました。

ECO Meetingはタブレット端末を使った直感的にセキュアな会議ができるペーパーレス会議システムです。最初は10人規模の賛同者からの運用スタートでしたが、コロナ禍でグループ全体への運用になっていきました。各種届出（年末調整、新入社員入社前書類）のペーパーレス化にも取り組まれました。全社員にスマートフォンを貸与しているわけではないので個人のスマートフォンを申請に使ってもらいましたが、意外に問題なく受け入れられたということです。そこには総務の方がマニュアル整備やマンツーマンでの繰り返し説明会という努力があり、実を結んでいます。一部紙対応は残っています。

チェック作業、稟議もペーパーレス化され、印刷枚数の削減（△24%）で250万円もコストダウンを図られています。

【お役立ち情報：12/13(金) 全国参加型ICT講座を開催しました。2/2】

経費精算には楽楽精算を導入されました。当初は現金精算、給与口座振込への反対意見も多かったですが、コロナ禍でのリモートワークへの働き方変化とともに経費精算のキャッシュレス化の必要性が高まり、浸透していったということです。キャッシュレス化で全体的な生産性スピードがアップし経理部門は無駄な業務削減でグループ全体の生産性の向上につながったということです。これに続いて2021年からAmazonビジネス連携で間接資材購入も業務削減につながっています。

またAI顔認証システムで勤怠管理も行っています。工場での勤怠管理を効率化したい、フードディフェンスを強化したい、人員の所在確認が見える化したいというご要望をお持ちでした。食品工業でのAI・IoTの活用で手書きの出勤簿を廃止し、工場での勤怠管理を効率化されています。ここではマイクロソフト社のAzureを使って勤怠管理システムとAPI連携されています。AI顔認証とQRコード認証（帽子やマスクで判定できないこともあるので）で出退勤はもちろん、検温もされていますのでフードディフェンスにもつながっています。2020年からはDX戦略プロジェクトを開始されています。こんなデジタル戦略ロードマップも策定され、実行されています。

デジタル戦略のロードマップ

井村屋グループ



サイボウズ社のkintone活用もされています。kintoneはプログラムの知識がなくても使えるノーコードツールで注目を集めているツールの一つですね。現場の悩みは現場が一番知っているということでkintoneでの現場開発ができるようにkintone研修といった人材育成もされています。IoTスマートファクトリー化、ZoomWorkPlaceを使ったコミュニケーションツールの統合、クラウドPBXへの移行、Zoomrooms×neatを使った会議室の変革、Workvivo、さらには生成AI活用にも取り組んでいらっします。

BCP対策として万一の災害に備えて、Starlinkの検討や携帯電話が使えなくなった時に備え、Zoomphoneを検討されています。備えあれば、憂いなしですね。

自分たちで検討して実行していく姿勢がとても参考になりました。最初は小さなことから始めて、理解・納得・共感してくれる仲間を増やしていくことがDX推進にはとても大事ですね。DXは一回やっておしまいではなく次のDXがまっていますので、継続して取り組む息の長い活動ですね。これからの井村屋グループ様のDXがどうなっていくのか楽しみです。後日、オンデマンド配信のコンテンツにも組み入れる予定です。DXの企業での取り組み事例を今後もU協ではDXリテラシー講座で紹介していきます。

今年最初は、大前研一さんの「日本の論点2025-26」をご紹介します。

昨年は1月の台湾総統選挙から11月のアメリカ大統領選挙まで、世界の主要各国・地域で選挙が立て続けに行われ、日本でも東京都知事選、自民党総裁選、衆議院議員選と、空前の選挙イヤーでした。アメリカ大統領選でトランプ前大統領が圧勝し、劇的な振り返りを決めた事は驚きでした。

ウクライナや中東での紛争が解決されない中、「アメリカファースト」を掲げるトランプ氏の復権によって、2025年の世界情勢はどうなっていくのか。「GDP世界第4位転落」が象徴する長期低迷に対して、日本に打開策はあるのか。大前さんが解説されています。



毎週日曜日20:00～22:00大前研一LIVEにて、大前さんが私たちのビジネスに直結するニュースを解説されます。変化の激しいVUCAの時代、私も毎週欠かさず視聴して思考を鍛えています。今年の論点は、26記載されています。お正月休みに頭を整理する本としてお勧めです。今年もこの本を読んで、新しい年のビジネスに活かしていきます。目次は以下のとおりです。無料動画「観光立国」の視聴サービスもついています。

【Part1：日本編】

- 巻頭言 やり方次第で自動車産業を上回る規模へ。観光産業こそが日本経済の起爆剤となる
- Theme01 少数与党の石破首相は「名宰相」として歴史に名を残せるか？
- Theme02 日経平均株価の最高値更新は「失われた30年」の終わりを意味するのか？
- Theme03 日本衰退の象徴であるGDP世界第4位転落からの回復は可能か？
- Theme04 繰り返される「政治とカネ」問題に終止符を打つために、何を行うべきか？
- Theme05 9人の自民党総裁選立候補者が誰一人、政策に上げなかった日本の統治機構の問題とは？
- Theme06 候補者乱立でフィーバーした都知事選の裏で深刻化する都政の真の問題点とは？
- Theme07 人口増加以外の方法で、地方を活性化できる「逆転の発想」とは何か？
- Theme08 「令和の米騒動」の裏に隠れた日本の農業の問題とは？
- Theme09 福島第一原発の処理水放出で見落とされていた「科学的視点」とは？
- Theme10 国民皆保険制度の破綻を防ぐために、現行の医療制度にどのようなメスを入れるべきか？
- Theme11 日本の電機メーカーの雄、東芝を上場廃止に追い込んだ元凶とは？
- Theme12 ヨドバシカメラの西武池袋出店から読み取れるのは百貨店ビジネスの凋落か？
- Theme13 プログランニングは時代遅れ？生成AIで求められる人材像はどのように変わったのか？
- Theme14 日本人の致命的な欠点である「プレゼン力の低さ」を克服することは可能か？

【Part2：海外編】

- 巻頭言 空前の選挙イヤー2024を振り返る。台頭するポピュリストリーダーたち
- Theme01 世界的な右傾化トレンドにストップをかける方法はないのか？
- Theme02 新たな地政学リスクの中、日本の外交姿勢は対米追従のままでよいのか？
- Theme03 「トランプ圧勝」の大統領選。“ピンチヒッター、ハリス”はなぜ失速したか？
- Theme04 イスラエルとパレスチナの「不毛な戦い」に終止符を打つ方法は残されていないのか？
- Theme05 3年目に突入したロシアのウクライナ侵攻は、プーチンの勝利で終るのか？
- Theme06 反日教育が行われる中国で起こった「ヘイトクライム」を防ぐ方法はあるのか？
- Theme07 「台湾有事」が喧伝される中で行われた総統選挙が示す、台湾人の本音とは？
- Theme08 半導体から地震対策まで、台湾の繁栄の方程式から何を学ぶべきか？
- Theme09 14年ぶりの労働党政権誕生によって、イギリスは「EU再加盟」に向かうのか？
- Theme10 グローバルサウスの盟主の道を突き進むインドに日本はどう向き合うべきか？
- Theme11 生成AI各社がしのぎを削る国際競争において、日本企業は勝者になれるのか？
- Theme12 EVブームが一段落した今、次世代の自動車メーカーの勝者となるのは？

＜締切間近＞ 1月12日(日)まで受付中

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会

参加費無料

＜2025年 新春特別企画＞

大前さんに「世界の潮流2024」を学ぼう！

2024年の日本を振り返ってみると、まさに激動の一年でした。

元旦に発生した能登半島地震、羽田の航空機衝突事故、日銀マイナス金利政策解除、34年ぶりの160円台の円安ドル高、日経平均42,426円市場最高値更新、4,400円超過過去最大値下がり、最低賃金が1,054円と過去最大50円引上、75万人余の過去最少出生数、20年ぶり新紙幣の発行、石破内閣組閣後衆議院選挙自民党大敗、……



また世界ではロシアのウクライナ進攻3年目、レバノン軍事侵攻、右傾化、アメリカ大統領選挙ドナルド・トランプ氏勝利など、経済に直結する大きな出来事がありました。

第1部では大前さんの「2024年一年間の総括&今後の日本の課題と解決策」を、お馴染み丹羽亮介氏のナビゲーションで今回もお送りいたします。

また、第2部ではドローン×ICT×AIでビジネスに今どんな変化が起こっているのかを(株)NTT e-DroneTechnologyにお話し頂きます。

今後の事業経営のヒントは、このセミナーにあります。お見逃しなく！

募集人数 **1,000名(先着順)**

※お知り合いの方にもぜひご紹介ください。

【開催日時】 2025年 1月14日(火) 13:30～16:40(13:10から接続可)

【開催内容】 13:30開演 16:40終了予定

第1部 13:40～ あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに「世界の潮流2024」を学ぼう

〔講師：大前研一氏(ビデオ)、丹羽亮介氏(株)マインドシーズSG代表)〕

第2部 16:00～ ドローン×ICT×AIで拓くビジネスの最新動向(仮)

〔講師：木村 祥介(株)NTT e-DroneTechnology〕

【参加費】 無料

【申込方法】 以下URL又はQRコードからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4505158>

※ 商工会議所等からのご紹介の方は、該当欄に商工会議所等の名称を必ずご記入ください。

【参加方法】 申込時に視聴登録URLをメールにてお送りいたします。

【主催】 (公財)日本電信電話ユーザ協会

【共催】 東日本電信電話(株) 西日本電信電話(株)

「撮影／国府田 利光氏」



BBT University

ビジネス・ブレイクスルー
大学学長、同大学院学長
大前 研一氏



NTT
e-DroneTechnology

【問い合わせ先】 各支部のホームページをご確認ください。
電話 0120-20-6660 最寄りの支部につながります。



ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。



公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会

【主催】公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
【共催】東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社

【オンライン開催】組織で働く皆様必見！

2025サイバーセキュリティ対策講座【第1弾】

皆様の職場が狙われています！今すぐ適切な対策を！

2025年2月12日(水)13:30 ▶ 15:40

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢、クラウドサービス利用時の対策【50分】 講師：警視庁サイバーセキュリティ対策本部 担当官

- ◆サイバー空間で発生している事案とその対策について解説します。
- ◆インターネットを通じて外部企業が提供するクラウドサービスを多くの企業が利用しているものの、その際のセキュリティ対策は、新しいサービス利用ということもあり、残念ながら万全とはいえない面もあるため、クラウドサービス利用時の注意点、適切な対策の具体的内容について解説します。

【第2部】基本から再確認！今日から直ぐにできるサイバーセキュリティ対策の基礎知識【50分】 講師：ユーザ協会 近畿事業推進部長 川畑 文雄 氏

- ◆インシデント事例と原因の本質について掘り下げ、その基礎的な対策を体系的に解説します。
～専門知識がなくても安心してご理解いただけます～
- ◆万一被害にあった場合の対処方法(初期対応・専門家支援など)を具体的な行動として解説します。

【ユーザ協会からのお知らせ】★会員特典(サイバーセキュリティ保険)ほか

※都合により、内容を変更する場合があります。



定員 オンライン:300名

申込み方法 2月10日(月)までに 右QRコード
または以下申込サイトからお申込み
ください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4749183>

参加費 お一人様5,500円(税込) ユーザ協会会員は“無料”



聴講方法 「Zoom」にてライブ配信します。視聴URL等詳細は、
1週間前、1日前のリマインドメールにてお申込みメール
アドレス宛にご案内致します。



次回案内 2025年6月と10月を目途に本講座を開催します。内容は、日々巧妙化していくサイバー攻撃に対応するべく、
その時々タイムリーな情報を提供させて頂きます。是非シリーズで受講してください。(別途ご案内)

【問い合わせ先】各支部のホームページをご確認ください。電話 0120-20-6660 最寄りの支部につながります。



ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。
本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。
入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



ノーコードツールを体験されてみませんか。

【主催】(公財)日本電信電話ユーザ協会 【共催】東日本・西日本電信電話株式会社、大阪商工会議所

企業のDXを加速する

「リスクリングの重要性」「ノーコードツール活用」セミナー

2025年2月20日(木) 午前の部 9:30▶12:00 午後の部 14:00▶16:30

<各回セミナー終了後、ノーコードツール体験会(70分)あり>

【第1部】「リスクリングの重要性とe-ラーニング展開の必要性」[40分]

【オンライン・会場】 講師：NTT東日本 ビジネス開発本部 CXビジネス部 川久保 舟平 氏

「リスクリングって、なんだっけ？重要なの？」「リスクリングって何をすればいいの？」そんな疑問をお持ちの方も多いと思います。

“リスクリング”とは、DXの推進と同時に生まれる『新しい仕事』や『既存の仕事の大幅な変化』に対応するために必要なスキルを習得することであり、その重要性は益々顕著になってきています。

第1部では、eラーニングを利用した効率的なリスクリング推進と、企業全体のスキルアップ・市場競争力強化について、活用事例紹介含め、分かり易く解説します。



【第2部】「DXの第一歩！専門知識不要のノーコードツール活用術」[30分]

【オンライン・会場】 講師：サイボウズ株式会社 営業本部 三谷 菜穂美 氏



ノーコードツールは、プログラミングの知識やスキルがなくても、直感的な操作でWebアプリケーションなどのソフトウェア(業務アプリや業務システム)を開発できるツールです。ITの専門知識がない業務部門であっても、思いついたアイデアを形にできるため、デジタル化やDXを促進することができます。第2部では、その仕組みの概要を分かり易く説明します。



【セミナー終了後/会場】「ノーコードツール体験会」[70分]

【会場】大阪府大阪市北区角田町8-1 大阪梅田ツインタワーズ・ノース 35階

・参加者お一人づつ専用端末をご用意し、講師の指導のもと、実際にノーコードツールを操作し、その良さを存分に体感して頂きます。

・講師は、サイボウズ株式会社の専門家をお願いしています。

【アクセス】阪急大阪梅田駅(3階改札口)徒歩5分/JR大阪駅(御堂筋南口)徒歩5分

阪神大阪梅田駅(東口)徒歩3分/大阪メトロ御堂筋線梅田駅(11番出口南改札)徒歩3分/大阪メトロ谷町線東梅田駅(1番出口)徒歩3分

定員

オンライン:300名 会場(体験会):午前、午後各々25名[先着順]

※会場は、ノーコードツール体験会参加の方のみとします。なお、第一部から受講できますので、午前・午後の部それぞれ開始10分前までに直接会場へお越しください。

※午前・午後の部は、同様の内容となりますので、いずれかにお申込みください。

申し込み方法

2月17日(月)までに 右 QRコード または 以下申込サイトからお申込みください。

①オンラインのみ参加 ⇒

<https://coubic.com/jtua-kinki/2438559>

②オンライン+体験会参加 ⇒

<https://coubic.com/jtua-kinki/1270215>

<オンラインのみ>



<オンライン+体験会>



参加費

お一人様5,500円(税込) ユーザ協会会員は“無料”

聴講方法

「Zoom」にてライブ配信します。視聴URL等詳細は、1週間前、1日前のリマインドメールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。